

# 官民一体で防犯対策強化

## 甲賀市あんぜん・あんしんなまちづくり市民会議設立

近年、交通の発達により犯罪も広域化しており、都市部に限らず地方でも凶悪犯罪が多発しています。甲賀署によると、昨年の当市での犯罪総数は966件で前年より47件増加、1日に換算すると2.6件、何らかの事件が市内どこかで起きていることとなります。



▲市民会議の会長としてあいさつする中嶋市長

# 自分たちで守る”を合言葉に

こうした事態を受け、犯罪のおきにくいまちづくりをめざし、官民一体で防犯に取り組み「甲賀市あんぜん・あんしんなまちづくり市民会議」が2月21日に設立されました。

これまでは、区長連合会で組織する防犯自治会が防犯に努めてこられました。市民会議には、学校や公共交通機関、老人クラブ、消防団、奉仕団体、量販店など計37団体が参画、防犯対策の強化が期待されます。

市民会議では今後、犯罪の発生を知らせる防犯メールの配信や、市内で増加している自転車盗や万引き防止に向けた啓発など、各団体の協力のもと活動が展開される予定です。市民の皆さんと事業者、行政が連携を密にしながら犯罪の芽を摘み、一丸となって犯罪のない明るく元気なまちをめざします。

## 青パト隊が出発 量販店では中学生が声かけ運動

市民会議設立総会后、希望ヶ丘地区安全安心まちづくり協議会、広野台西区自主防犯協議会、桜ヶ丘区自警団、第四水口台自警団による青パト隊17台が啓発活動へ出発しました。

市内量販店では水口中学校ボランティア部の生徒7人が青パト隊の隊員とともに、防犯声かけ運動を実施。買い物客に自転車用ワイヤロックなどを配布しながら、自転車盗や車上狙い、振り込め詐欺への注意を呼びかけました。



▲啓発活動に出発する青パト隊

## ▼量販店入り口で防犯を呼びかける 水口中学生



平成23年3月15日

# 防犯灯をLEDタイプに交換 省エネ・CO<sub>2</sub>削減に効果

設置から数十年経過し、劣化した水銀灯型防犯灯を、2月から3月にかけてLED防犯灯に交換しています。

既存の水銀灯は低効率・短寿命であり、これを長寿命のLEDタイプに交換することで省エネや電気料金の削減にもつながります。



▲長寿命で環境にもやさしいLED防犯灯

今回の交換は、水口中学校と城山中学校の通学路にある防犯灯386基を対象

# “自分たちのまちは

## 地域ぐるみで取り組む 防犯・交通安全

「甲賀町大原上田「ほっとサロン上田」」市内各地では、地域の安全は地域で守ろうと住民が力を合わせて防犯や交通安全に取り組んでおられます。

甲賀町大原上田の「ほっとサロン上田」では2月15日、高齢者の皆さんが交通安全と防犯について学びました。

この日は、県内各地で高齢者の交通安全教室を行う県警本部交通企画課ふれあいチームが来所。女性警察官扮するおばあさんが登場し、斜め横断の危険性や夜光反射材の効果などを寸劇でわかりやすく訴えました。



▲反射材の効果を寸劇で説明する  
県警本部ふれあいチームの女性警察官

また、甲賀署からは実際に最近市内で起こった振り込め詐欺の被害が紹介され、「自分だけは大丈夫と思わず、不審な電話はまず疑って」とアドバイスがありました。

平成23年3月15日

# 水道事業審議会 第3期委員を委嘱

市の水道事業に関する重要な事項について、調査や審議を行う諮問機関として条例に基づき水道事業審議会が設置されています。

この第3期の審議会委員に学識経験者や受益者の代表として次の10名の方が委嘱されました。また、互選により会長に松山正己さん、副会長に曾和政一さんが選ばれました。

任期は平成24年11月29日までで、今後、水道事業の健全経営・将来計画・施設整備事業評価等について審議をいただきます。

## ○就任された委員の皆さん (敬称略)

会長	松山正己	(学識経験者)
副会長	曾和政一	(受益者代表)
委員	林もとや	(学識経験者)
〃	中井孝	(〃)
〃	青木利之	(受益者代表)
〃	松林武雄	(〃)
〃	小倉千枝	(〃)
〃	野村京子	(〃)
〃	北田順子	(〃)
〃	清水史	(〃)

## ⚠ 水道の漏水

水道の検針時に漏水が見つかることがあります。検針は2か月に一度ですので、思わぬ漏水量になることがあります。日頃から個人でも次の要領で管理をお願いします。

- 1 蛇口を全部閉めます。
- 2 量水器の蓋を開けメーターのパイロットを確認。
- 3 回ってれば、宅内給水管のどこかで水漏れの可能性があります。甲賀市指定給水装置工事業者に修繕を依頼してください。

問い合わせ  
上水道業務課 管理係  
☎86-8013 ☎86-8032